



えのしろ

四日市市立三重北小学校

令和6年7月10日発行



学校教育目標 「自ら考え、行動できる子どもの育成」

学校のきまりについて

本校には、パーマをかける、髪の毛を染めることについてきまりはありませんが、大池中学校や大池中学校区の小学校の中には、校則として髪の毛を染めないことを明記している学校もあります。

就職活動をしている学生の様子を見ても、真新しいスーツに黒っぽい鞆、もともとの髪質や色でといった格好で活動している姿が定番となり、求められている人物像であることが分かります。一方で、高校卒業年齢あたりからファッションの一つとして、パーマをかけたり、髪を染めたりする人も多く、社会全体のおしゃれへのイメージが変化していることも事実です。

このような時代ですが、学校としては、以下の理由でパーマをかけたり、髪を染めたりすることは推奨できないと考え、学校生活のきまりとしていくことを検討しています。

① 「様々な危険から守るため」

子どものパーマ・染髪は、おしゃれ以外の捉えられ方をすることがあります。非行グループから攻撃を受けたり、仲間入りを誘われたりする可能性が高まります。

② 「心と体の成長を優先に」

子どもは大人と違って成長段階です。健やかな成長のためには、十分な睡眠や栄養、正しいものの見方、豊かな文化との出会いが必要です。例えば、友だちと外で遊んだり、キャンプなどの自然体験をしたり、美しい絵画を見たりといった経験などです。心と体の成長を優先に成長につなげたいものです。

③ 「体への影響を考えるため」

パーマ・染髪のための薬剤には、刺激が強いものが多いそうです。最近では、天然素材なども開発されてきているようですが、子どもの髪の毛は未熟で、頭皮も大人より皮脂の分泌が少ないため、防御力が弱い状態だそうです。場合によっては、アレルギーを引き起こすこともあるそうです。

学校生活のきまりの変更については、PTA 役員・学校運営協議会の皆様にも了承を得て進めています。

また、パーマ・染髪以外にもアクセサリー（ピアス・ブレスレット・ネックレス）・二重まがた等の整形手術も含め、おしゃれのために多くのお金を支払うことは、子どもたちの健全な金銭感覚を養うことにつながりにくいと考えられます。最終的にお子さんにとってどうすることが良いのか、ということをご家庭でしっかり話し合い、判断していただくことが大切です。ご理解とご協力をお願いします。

キャリアパスポートの活用について

四日市市では、キャリアパスポートの様式を市内で統一し、四日市版として活用しています。また、三重北小バージョンのものを各学年プラスして取り組んでいます。キャリアパスポートの活用にあたりまして、保護者の方々におかれましては、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

(1) 四日市版キャリアパスポート

『みらいにつながる Future★Link』の具体的な活用方法について

四日市版キャリアパスポート『みらいにつながる Future★Link』



- ① 児童生徒自らが記録し、学期、学年、入学から卒業までの学習を見直し、振り返るとともに、将来への展望を図ることができるもの。

学年	科目	1学期	2学期	3学期
1年生	国語	☆	☆	☆
1年生	算数	☆	☆	☆
1年生	理科	☆	☆	☆
1年生	社会	☆	☆	☆
1年生	英語	☆	☆	☆
1年生	音楽	☆	☆	☆
1年生	体育	☆	☆	☆
1年生	美術	☆	☆	☆
1年生	総合	☆	☆	☆

・年度の初めに目標や夢を書くことで、長期的な見通しを持ちます。

・学期末や年度末に自分の学びや生活を振り返ることで、次への見通しを持ちます。

保護者の方へ

- 学期末や年度末に取り組んだところは、長期休暇前に持ち帰りますので、その学期の頑張りを認めるコメントや次学期（新学年）に向けてのメッセージなどの記入をお願いします。
- ご家庭で取り組んだ体験活動・ボランティア、また、地域の行事がありましたら、長期休暇前などご家庭に持ち帰った時に記入をお願いします。この活動内容については、必ず取り組まなければならないものではありませんが、ぜひご記入を進めてください。
- キャリアパスポートは、6年生の卒業まで使用するものなので、大切に活用ください。小学校で活用後は、進学する中学校へ提出することになっています。
- キャリアパスポートは、子どもたちが自己を見つめて振り返るとともに、将来への展望を図るためのものです。そこで、空欄になっているところを無理に書かせたり、書いた内容を評価したり（丸をつける、点数をつける）はしていませんので、ご理解ください。